

遠隔設定ツール Ver.2

DXPDXA 遠隔設定ツール

操作説明書

# 目 次

1. はじめに	1
2. ソフトウェアの概要	2
3. 動作環境	4
4. セットアップ	5
5. 起動及び機器接続	6
6. ソフトウェアの複数起動	9
7. 接続後の画面表示	10
8. アラーム設定	12
8. 1 アラーム種類・設定値・リレー・ディレイ時間の設定	13
8. 2 アラーム On/Off の設定	15
8. 3 送信時の処理	17
8. 4 CSV 出力	18
9. 記録開始	19
10. 記録停止	19
11. メッセージ	20
12. フリーメッセージ	21
13. バッチ	21
14. 表示セーブ・イベントセーブ	22
15. 時刻設定	23
16. SNTP 時刻調整	23
17. パスワード変更	24
18. イメージ保存	24
19. 最新に更新	25
20. 自動更新	25

21. システム情報	25
22. WEB 表示	26
23. FTP 表示	27
24. バージョン情報	27

遠隔設定ツール Ver.2

DXPDXA 遠隔設定ツール操作説明書

第一版：平成26年12月：Version 2.0.0.1

## 1. はじめに

DXPDXA 遠隔設定ツール（以下、本ソフトウェア）は、横河電機㈱のデータ収集医薬品モデル DX100P・DX200P（以下、DXP）及び DXAdvancedR4 の拡張セキュリティ機能 DX1000/AS1・DX2000/AS1（以下、DXA）の記録開始・停止・アラーム設定・メッセージ入力・バッチ情報入力・スナップショット表示・画面切替操作・時刻設定・パスワード変更等を、ネットワーク接続されているPCから行えるソフトウェアです。これらの機能により、DXP に対しては操作パネルを操作することなく、DXA に対しては記録を停止することなく、遠隔でアラーム設定を行うことが可能です。

### ●注意事項

本ソフトウェアをご利用頂く場合、以下の点にご注意下さい。

- ①本ソフトウェアは著作権法上の著作物としての取り扱いを受けますので、当社に無断で複製することはできません。
- ②当社では、本ソフトウェアを使用した結果、又は本ソフトウェアの使用に起因する結果によって発生する影響に関しては、一切の責任を負わないものとします。
- ③パッケージ開封の際にご同意頂きました「ソフトウェア使用権許諾契約書」の内容を再度ご確認ください。

## 2. ソフトウェアの概要

DXPDXA 遠隔設定ツールは、ネットワーク接続されている DXPDXA に対して、以下の設定が行えます。

- 機器接続           IPアドレス、ユーザー名、ユーザーID、パスワードを入力して接続します。
- アラーム設定       DXPDXA のアラームを設定し、送信・受信します。
- 記録開始           DXPDXA の記録（メモリ・演算）を開始します。
- 記録停止           DXPDXA の記録（メモリ・演算）を停止します。
- メッセージ          DXPDXA へのメッセージ設定、及び選択したメッセージを書き込みます。
- フリーメッセージ   DXPDXA へフリーメッセージを書き込みます。
- バッチ              バッチ番号・ロット番号・バッチコメントを登録します。
- 画面切替           各種グラフ及びグループ切り替え、サマリ画面を表示できます。
- スナップショット   DXPDXA のスナップショットを表示します。  
5秒毎の自動更新、F5キーによる手動更新が行えます。
- 表示セーブ・イベントセーブ       記録中のデータを記憶メディアにセーブします。ファイルが区切られます。
- 時刻設定           DXPDXA へ時刻を設定します。
- SNTP時刻調整       DXPDXA に設定されているSNTPサーバーに対して時刻調整を行います。
- パスワード変更     DXPDXA のパスワードを変更します。
- イメージ保存       画面イメージを保存します。（拡張子PNG）
- システム情報       接続した機器の情報を取得し表示します。
- WEB表示            DXPDXA をWEBブラウザで表示します。
- FTP表示            DXPDXA の記憶メディアの内容を表示します。

各操作は、接続した機器に対してのみ行えます。複数台のDXPDXAに対して設定する場合は、機器接続で別の機器に接続して各操作を行って下さい。また、本ソフトウェアは複数起動が可能です。起動したソフトウェア毎に、異なる機器に接続して表示・設定することができます。

通信で接続するため、DXP の場合はユーザー登録のログイン種類を **Key+Comm** 又は **Comm** を設定して下さい。DXA の場合はセキュリティの通信をログインに、ユーザー登録のモードを **Key+Comm** 又は **Comm** に設定して下さい。

一般ユーザーで接続した場合、ユーザー毎に設定されている操作権限により、操作できない機能があります。その他の設定は、本体機器及び **DAQSIGNIN** 又は **DAQSTANDARD** にて行って下さい。本体機器及び **DAQSIGNIN**、**DAQSTANDARD** の操作は、各マニュアルを参照して下さい。

### 3. 動作環境

- OS WindowsXP/Vista/7/8/8.1 (32bit/64bit)
- メモリ 512MB 以上 (OSにより、快適に動作する容量を搭載して下さい。)
- ハードディスク 本ソフトウェアはアラーム設定情報のCSVファイル出力を行います。  
プログラム自体は、2MB程度の容量があれば動作します。  
但し、OSが快適に動作する為に、ある程度空き容量が必要です。
- インターフェース DXPDXAとの接続はEthernetのみです。  
DXPDXAとPCとの間で、ネットワーク接続ができるようIPアドレス・サブネットマスク等の設定を行って下さい。  
また、ファイアーウォール・ウイルス監視ソフトを使用される場合は、本ソフトウェアがブロックされないよう設定して下さい。
- CDドライブ 本ソフトウェアのインストール用に必要です。
- ディスプレイ 1024×768ドット以上。
- 対象測定機器 データ収集ステーション医薬品モデル DX100P・DX200P  
DXAdvancedR4 拡張セキュリティ機能 DX1000/AS1・DX2000/AS1  
同時に接続・設定できるのは、1台のみです。  
但し、ソフトウェアは同時に複数起動が可能です。

## 4. セットアップ

DXPDXA 遠隔設定ツールのセットアップは、次の手順で行います。  
CD タイトルは 遠隔設定ツール です。

1. パソコンを起動します。
2. 遠隔設定ツールのCDをセットします。
3. 自動的にセットアップが始まります。  
始まらない場合は、CDの **Setup.exe** をダブルクリックして下さい。  
セットアップ画面が表示されます。  
以降は、画面の指示に従ってセットアップして下さい。

セットアップ先のデフォルトは「C : ¥Program Files¥遠隔設定ツール Ver.2」です。

セットアップ終了後は、スタートメニューに「DXPDXA 遠隔設定ツール」のアイコンが登録されます。  
プログラム自体は、指定したフォルダに保存されます。

### 4. アンインストール

アンインストールする場合は、コントロールパネルのプログラムの追加と削除で行って下さい。

### 5. DXPDXA 遠隔設定ツールのファイル

インストールされるファイルは以下の通りです。

●DxpCom.exe	DXPDXA 用プログラム実行ファイル
●DXPDXA 遠隔設定ツール操作説明書.pdf	DXPDXA 用操作説明書
●uninst.isu	アンインストール情報ファイル

本ソフトウェアは、**DxpCom.exe** を起動するだけで実行可能であり、他のサブプログラム等の付随的なファイルを必要としません。

また、本ソフトウェアを動作することにより作成・変更されるレジストリはありません。

### 6. Windows ファイアウォールの設定

OSによっては、機器検索や設定送受信で通信がブロックされる場合があります。  
その場合は、Windows ファイアウォールの設定で下記のポートを開放して下さい。

TCP/IP 34260  
UDP 34264

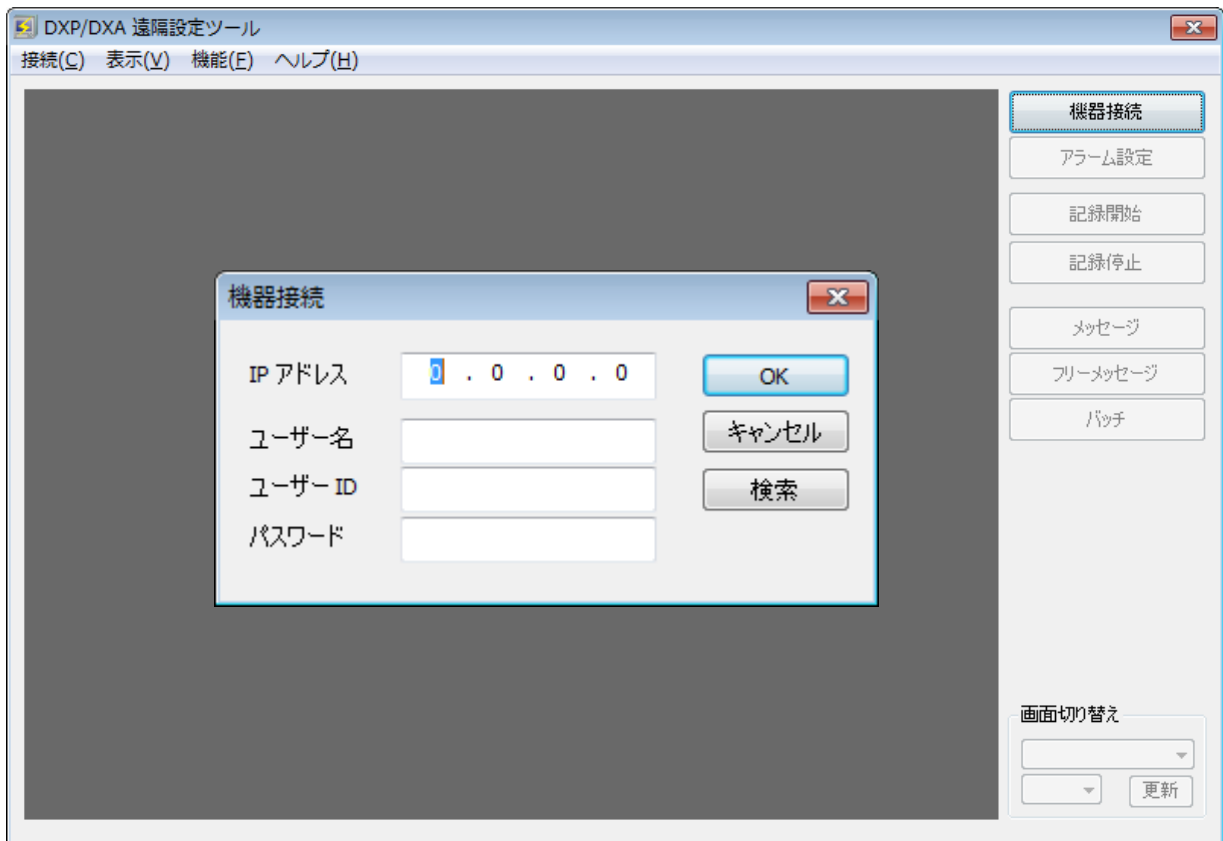


## 5. 起動及び機器接続

DXPDXA 遠隔設定ツールは、セットアップで登録されたスタートメニューから起動します。  
又は、CDからセットアップせずに、CDの DxpCom.exe をダブルクリックすることでも起動できます。

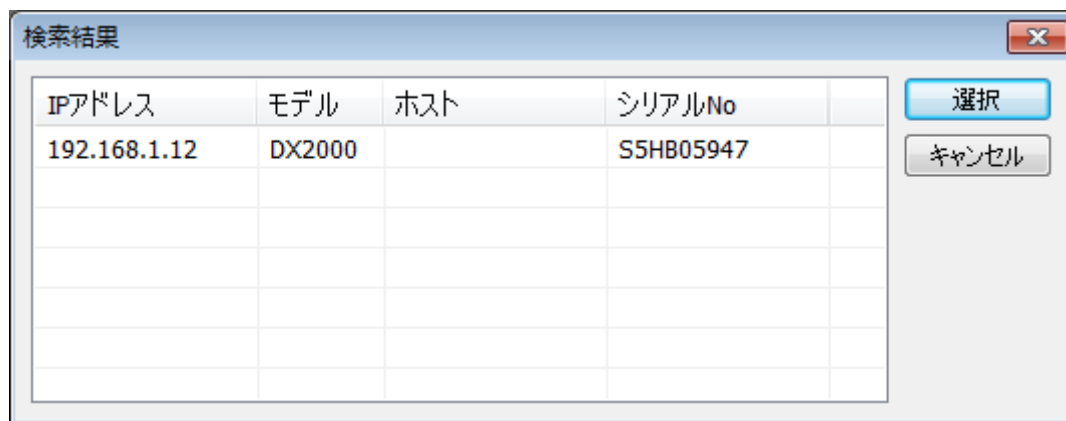


アイコン



起動すると、DXPDXA に接続するための機器接続画面が表示されます。  
接続する DXPDXA の IP アドレス / ユーザー名 / ユーザー ID / パスワードを入力して OK ボタンをクリックして下さい。

又は、検索ボタンをクリックすると、ネットワーク上の DXPDXA を検索して一覧表示されます。



一覧から接続する DXPDXA を選択すると、機器接続画面の IP アドレスには選択した DXPDXA の IP アドレスが表示されます。

DXP で、同一ユーザーがログインしているとエラーとなります。DXA の場合は、マルチログイン機能が有効でない場合は、他ユーザーがログインしている場合はログインできますが、各設定送信時にエラーとなります。

機器接続ボタン又はファイルメニューの「機器接続」を選択した場合も、機器接続画面が表示されます。各操作終了後、別の DXPDXA に接続する場合は、機器接続ボタンをクリックして該当する DXPDXA に接続して下さい。

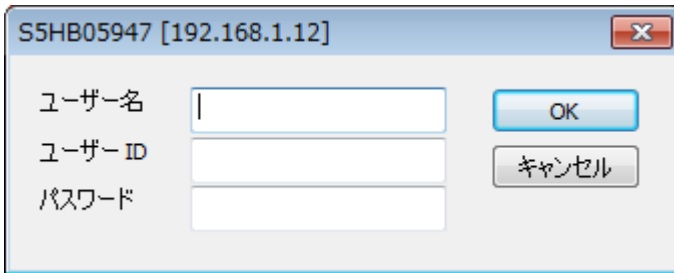
※DXP は、パスワードを3回連続で間違えると、そのユーザー名ではログインできなくなります。

DXA は、指定した回数連続で間違えると、そのユーザー名ではログインできなくなります。

DXPDXA の設定で、ユーザーID無しに設定されている場合は、ユーザーIDの入力は必要ありません。

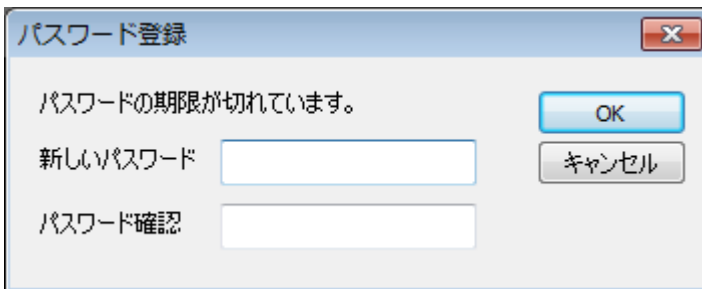
※3分間何も操作しないと、自動的にログアウトされます。

3分経過してから次の操作を行おうとした場合、下記画面が表示されますので、ユーザー名/ユーザーID/パスワードを入力して下さい。タイトルバーには接続していたIPアドレスが表示されています。



The screenshot shows a login dialog box with the title "S5HB05947 [192.168.1.12]". It features three input fields: "ユーザー名" (Username), "ユーザーID" (User ID), and "パスワード" (Password). To the right of these fields are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

※パスワードの有効期限が切れていると、パスワード登録画面が表示されますので、新たにパスワードを登録して下さい。



The screenshot shows a "パスワード登録" (Password Registration) dialog box. It contains the message "パスワードの期限が切れています。" (Password validity period has expired.). Below this are two input fields: "新しいパスワード" (New Password) and "パスワード確認" (Password Confirmation). To the right are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

※一般ユーザーで接続すると権限が無いため、アラーム設定の送信時にエラーとなります。

※選択した機能の権限が無い一般ユーザーで接続すると、設定送信時にエラーとなります。

## 6. ソフトウェアの複数起動

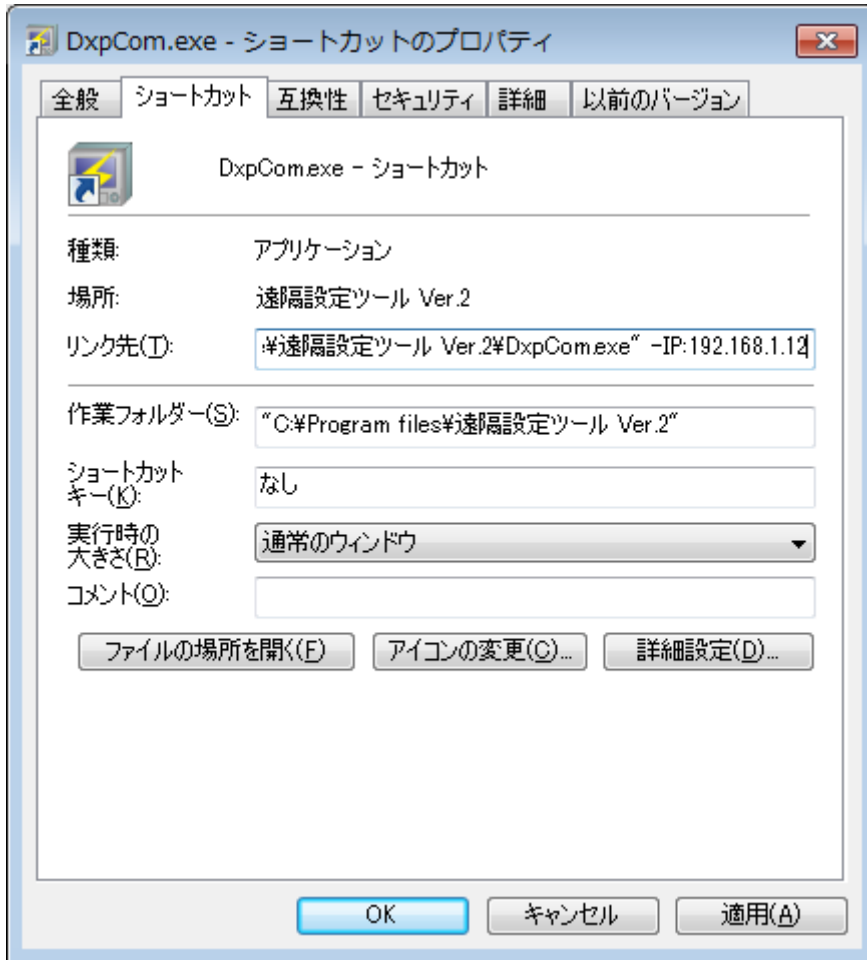
本ソフトウェアは複数起動が可能です。

ショートカットから機器の台数分ソフトウェアを起動し、それぞれ別々の DXPDXA に接続できます。

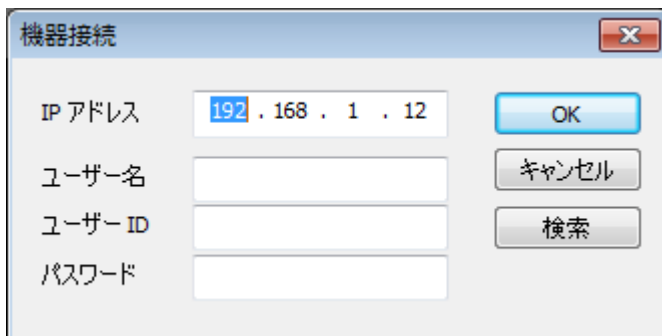
また、ショートカットの引数に機器の IP アドレスを指定すると、ソフトウェア起動時に IP アドレスが入力された機器接続画面が表示されますので、IP アドレスの入力を省くことができます。

ショートカットのプロパティでリンク先の末尾に、-IP: の後に IP アドレスを指定して下さい。

-IP の前は 1 スペース空けて下さい。

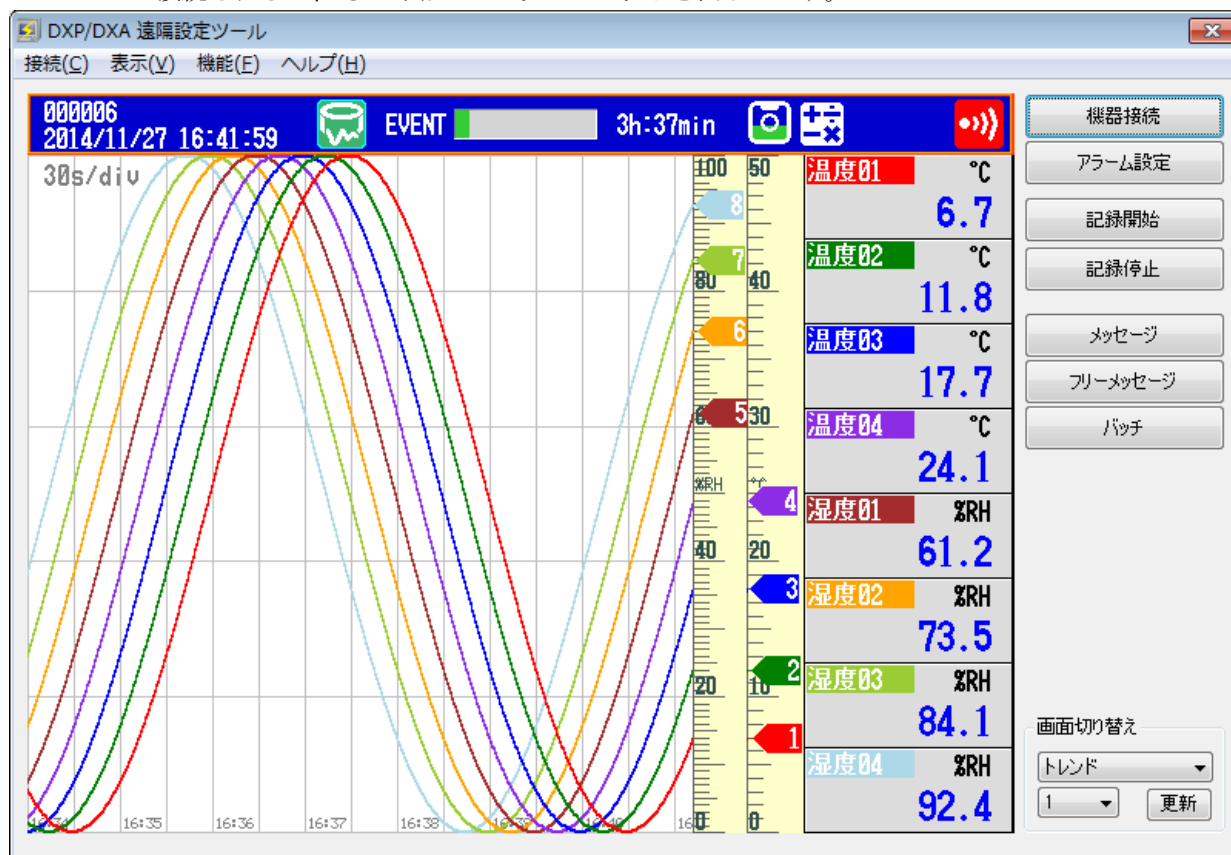


上記のショートカットから起動すると、IP アドレスが入力された状態の機器接続画面が表示されます。必要な台数分のショートカットを作成して下さい。



## 7. 接続後の画面表示

DXPDXA に接続されると、その時点のスナップショットを表示します。



この画面の各ボタンをクリックするか、メニューから選択して以降の各操作を行います。

※各操作は、システム管理者か該当する機能の操作権限を持つ一般ユーザーでないと設定送信できません。

### ●メニュー

接続	表示	機能	ヘルプ
機器接続※	最新に更新(F5)	記録開始※	バージョン情報
終了	自動更新	記録停止※	
	システム情報	表示セーブ	
	WEB表示	イベントセーブ	
	FTP表示	アラーム設定※	
		メッセージ※	
		フリーメッセージ※	
		バッチ※	
		時刻設定	
		SNT P時刻調整	
		パスワード変更	
		イメージ保存	

※は、画面のボタンと同機能です。

●画面切り替え

画面右下のボックスから表示する画面とグループを選択して更新ボタンをクリックすると、選択した画面に切り替わります。各種サマリは、グループを選択しても無意味です。

DXPDXA により選択できる画面が異なります。

DXA はオプションの有・無、及び機能の使用・未使用により選択できる画面が異なります。

本体の DISP/ENTER を押して選択できる画面とは異なります。

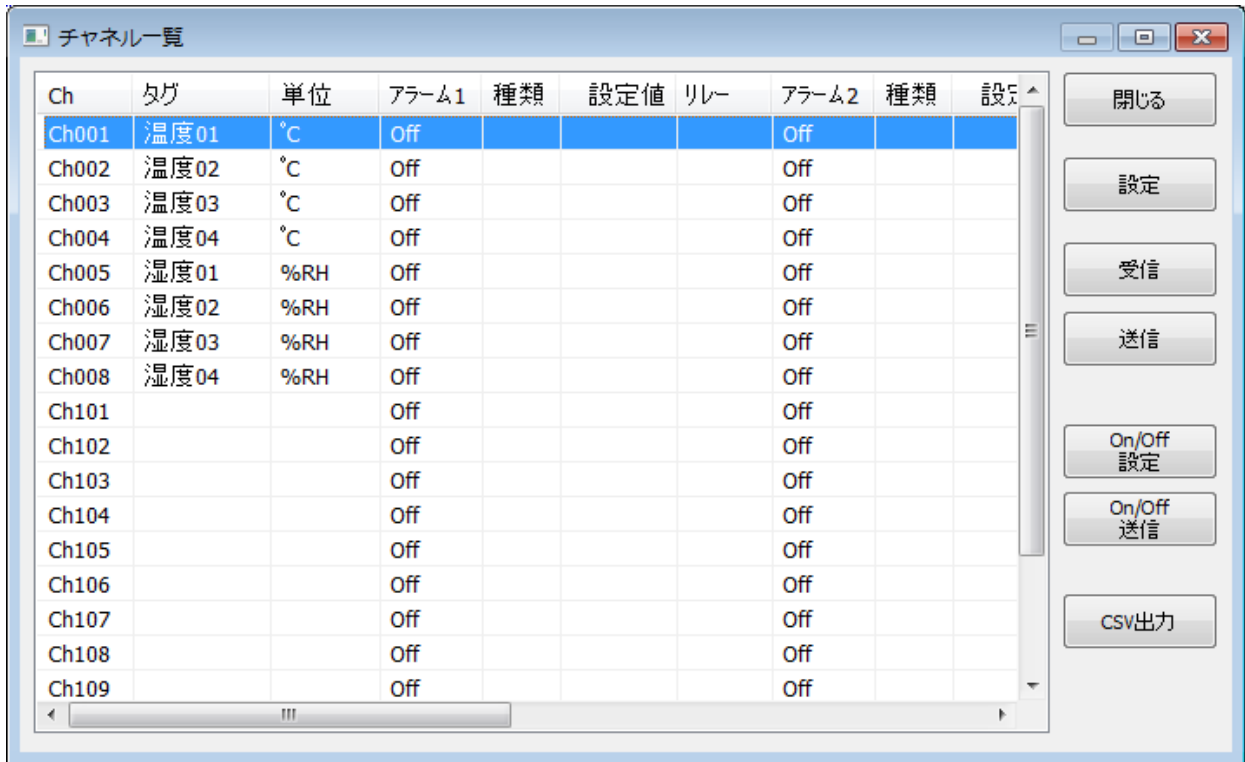
## 8. アラーム設定

メイン画面のアラーム設定ボタンをクリックすると、DXPDXA からアラーム設定情報を受信して一覧表示します。機能メニューの「アラーム設定」も同機能です。

最初に一覧表示したときは最大化表示されますが、任意の大きさにウィンドウサイズを変更できます。

その後、再度一覧表示すると、前回のサイズで表示されます。

プログラムを再起動すると、最大化表示されます。



次頁以降で説明する、「8. 1 アラーム種類・設定値・リレー・ディレイ時間の設定」、「8. 1 アラーム On./Off の設定」は以下の違いがあります。

- 8. 1 アラーム種類・設定値・リレー・ディレイ時間の設定 (設定ボタン・送信ボタン)

アラーム種類・設定値・リレー・ディレイ時間の設定が行えます。

設定ボタンでアラームを Off に設定し送信ボタンで送信、再度 On に設定しようとする、設定画面の設定値は 0・リレーは None と表示されます。前回値に戻す場合は、入力しなければなりません。

- 8. 2 アラーム On./Off の設定 (On/Off 設定ボタン・On/Off 送信ボタン)

アラーム On/Off の設定のみ行えます。

On/Off 設定ボタンでアラームを Off に設定し On/Off 送信ボタンで送信、再度 On に設定し On/Off 設定ボタンで送信すると、設定値・リレー情報は前回設定値に戻ります。

※On/Off 設定で Off から On に設定し、送信ボタンで送信するとエラーになります。

On/Off のみを送信する場合は、On/Off 送信ボタンで送信して下さい。

## 8. 1 アラーム種類・設定値・リレー・ディレイ時間の設定

設定するチャンネルをダブルクリックするか、選択して設定ボタンをクリックすると、チャンネル単位の設定画面が表示されます。

チャンネルを選択するとき、複数チャンネルを選択すると、設定した内容が選択した全てのチャンネルに反映されます。チャンネル選択は、**Shift** キーや **Ctrl** キーを押しながら選択すると複数選択できます。

チャンネル一覧画面にはタグと単位も表示されますが、設定できるのは下記画面の項目のみです。設定値はレンジの範囲内でないと送信時にエラーになります。

	種類	設定値	リレー
アラーム 1	H	30	None
アラーム 2	T	25	None
アラーム 3	t	10	None
アラーム 4	L	5	None

ディレイ時間 10 秒

各項目を設定しOKをクリックして下さい。

### ●アラーム種類

選択できる種類は、チャンネルのレンジモード及び演算チャンネルによって異なります。

### ●設定値

設定値は、チャンネルのレンジ範囲外の値を設定すると、送信時にエラーとなります。

### ●リレー

実際にDXPDXAに搭載されている出力リレー又は内部スイッチを選択して下さい。

### ●ディレイ時間

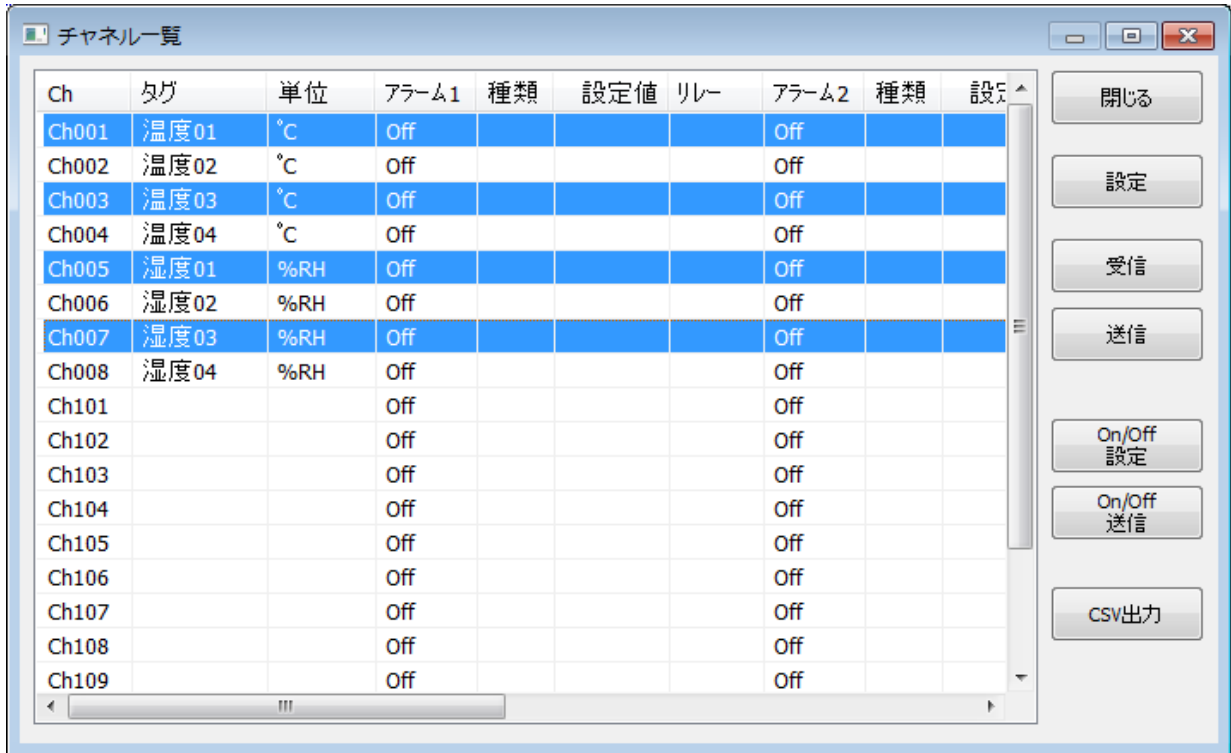
DXPDXAにより以下のように設定できます。

- DX100P、DX200P 1～3600 秒（秒／時間の選択はできません）
- DX1000、DX2000 1～3600 秒、1～24 時間

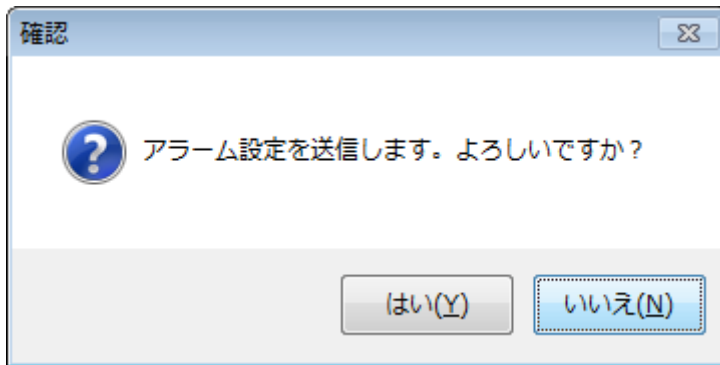


チャンネル毎のアラーム設定が終了したら、送信するチャンネルを選択します。送信対象は、選択されているチャンネル（反転表示）のみです。

チャンネル選択は、Shift キーや Ctrl キーを押しながら選択すると複数選択できます。



送信チャンネルを選択したら、送信ボタンをクリックします。



確認後、DXPDXA に送信されます。

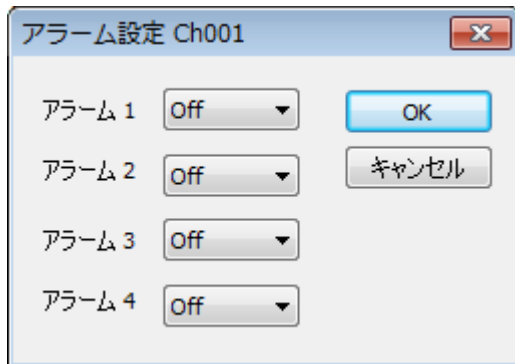
送信後に、再度 DXPDXA からアラーム設定情報を受信して一覧表示します。

## 8. 2 アラーム On/Off の設定

設定するチャンネルを選択して **Enter** キーを押下するか、選択して **On/Off** 設定ボタンをクリックすると、チャンネル単位の設定画面が表示されます。

チャンネルを選択するとき、複数チャンネルを選択すると、設定した内容が選択した全てのチャンネルに反映されます。チャンネル選択は、**Shift** キーや **Ctrl** キーを押しながら選択すると複数選択できます。

本機能では、アラームの **On/Off** のみが行えます。



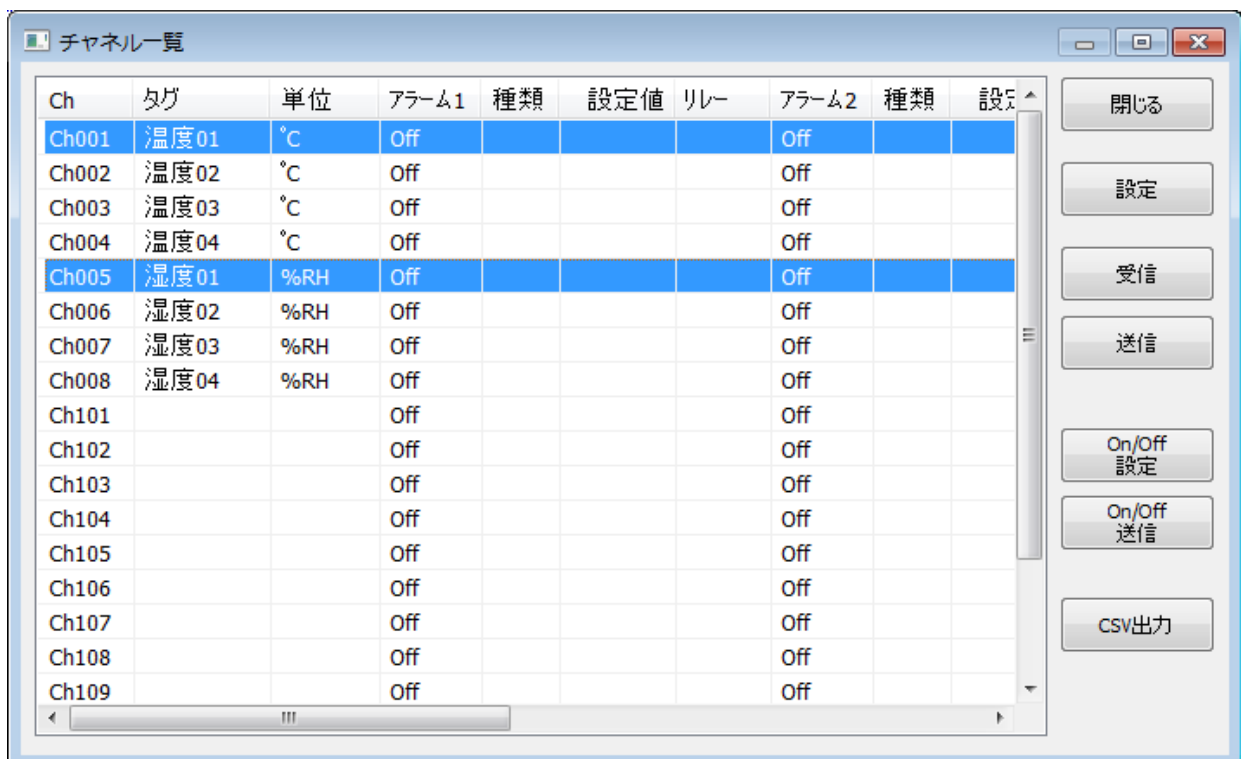
アラーム設定 Ch001

アラーム 1	Off	OK キャンセル
アラーム 2	Off	
アラーム 3	Off	
アラーム 4	Off	

**On/Off** を設定し **OK** をクリックして下さい。

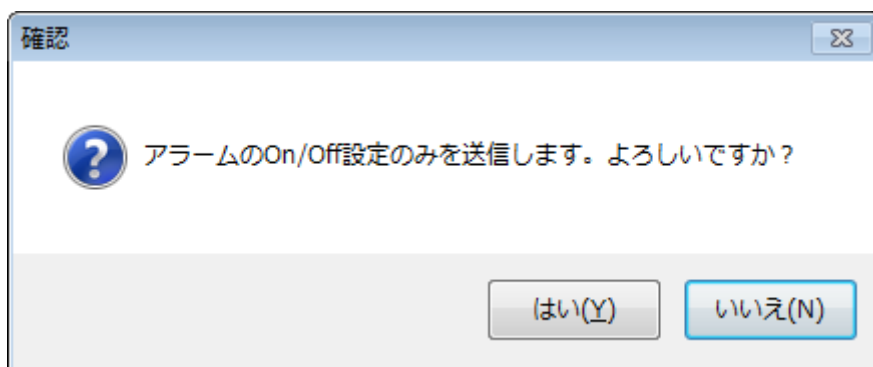
チャンネル毎の **On/Off** 設定が終了したら、送信するチャンネルを選択します。送信対象は、選択されているチャンネル（反転表示）のみです。

チャンネル選択は、**Shift** キーや **Ctrl** キーを押しながら選択すると複数選択できます。



Ch	タグ	単位	アラーム1	種類	設定値	リレー	アラーム2	種類	設定
Ch001	温度01	°C	Off				Off		
Ch002	温度02	°C	Off				Off		
Ch003	温度03	°C	Off				Off		
Ch004	温度04	°C	Off				Off		
Ch005	湿度01	%RH	Off				Off		
Ch006	湿度02	%RH	Off				Off		
Ch007	湿度03	%RH	Off				Off		
Ch008	湿度04	%RH	Off				Off		
Ch101			Off				Off		
Ch102			Off				Off		
Ch103			Off				Off		
Ch104			Off				Off		
Ch105			Off				Off		
Ch106			Off				Off		
Ch107			Off				Off		
Ch108			Off				Off		
Ch109			Off				Off		

送信チャンネルを選択したら、On/Off 送信ボタンをクリックします。



確認後、DXPDXA に送信されます。

送信後に、再度 DXPDXA からアラーム設定情報を受信して一覧表示します。

本機能では、アラームが設定されているチャンネルに Off を設定、再度 On に戻した場合、前回の設定値・リレー情報に戻ります。

### 8. 3 送信時の処理

送信ボタンをクリックした時の DXPDXA の状態により、以下のような処理が行われます。

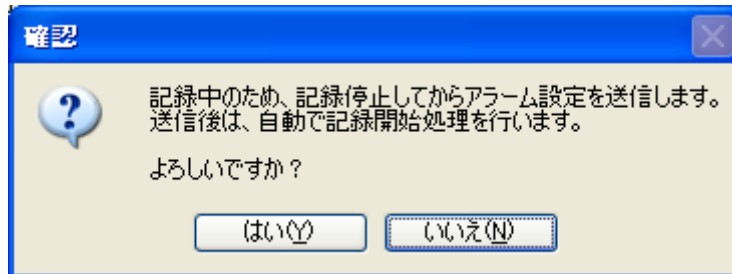
#### ●DXP の場合

##### ○記録中の時

記録停止 ⇒ アラーム設定を送信 ⇒ 記録開始を自動で行います。

記録開始・停止は、演算オプション (M1) があるときは、演算の開始・停止も行います。

送信ボタンをクリックしたとき、以下の確認画面が表示されます。



##### ○記録停止の時

アラーム設定を送信 (送信後は記録開始は行いません)

#### ●DXA の場合

記録中であっても、記録を停止せずにアラーム設定を送信します。

受信ボタンは、DXPDXA からアラーム設定値を受信します。

但し、メイン画面のアラーム設定ボタンをクリックし、チャンネル一覧画面が表示された時点で全チャンネルのアラーム設定値を受信しています。

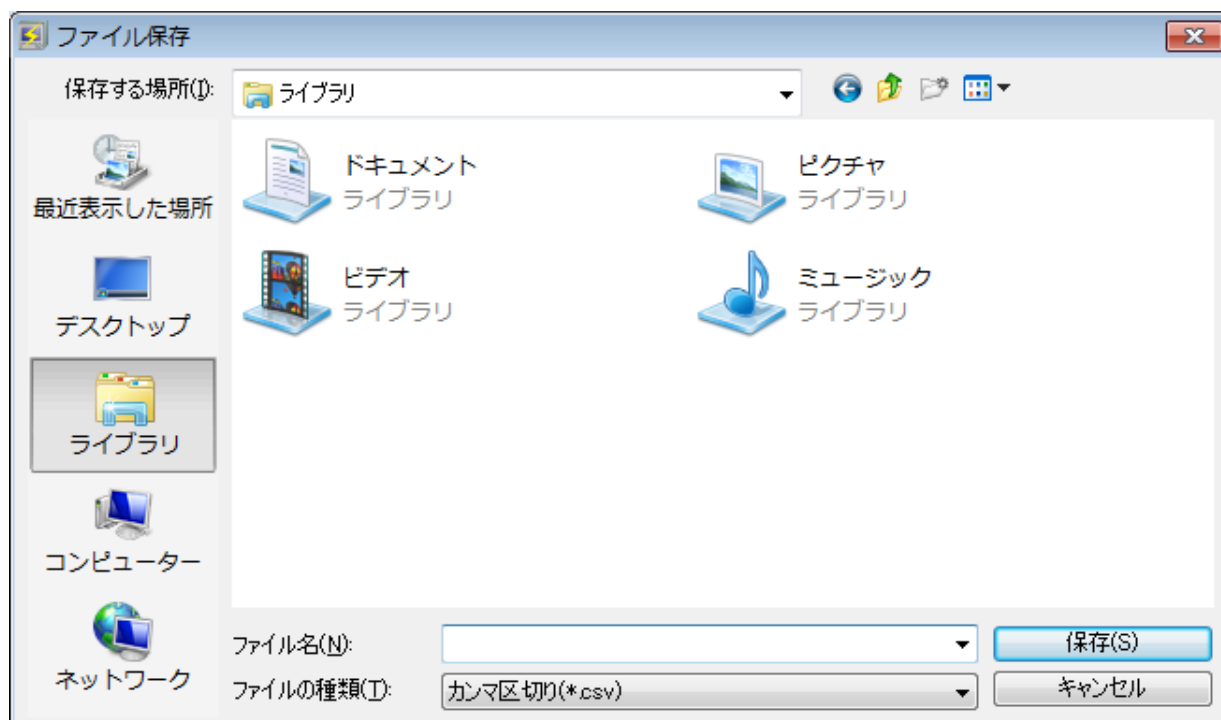
※アラーム設定送信途中でレンジ範囲外によりエラーになったときは、そこで処理が中断され以降のチャンネルの設定送信は行われません。

また、一般ユーザーでアラーム送信した場合は、記録停止後アラーム送信段階でエラーとなり、そこで処理が中断されます。

DXP の場合はこれらのエラーで処理が中断されると、記録中の場合、記録開始処理は行われません。正しい設定値を送信又は管理者ユーザーで送信後、記録開始処理を行って下さい。

## 8. 4 CSV 出力

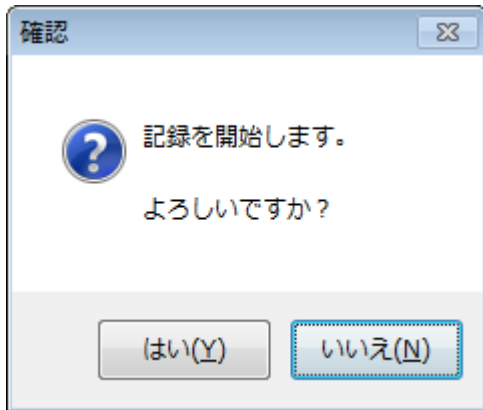
チャンネル一覧画面で CSV 出力ボタンをクリックすると、一覧の項目を CSV 出力することができます。



ファイル名を指定して保存して下さい。  
形式は、CSV 又は TXT です。

## 9. 記録開始

メイン画面の記録開始ボタンをクリックすると確認画面が表示され、DXPDXA のメモリ記録が開始されます。機能メニューの「記録開始」も同機能です。

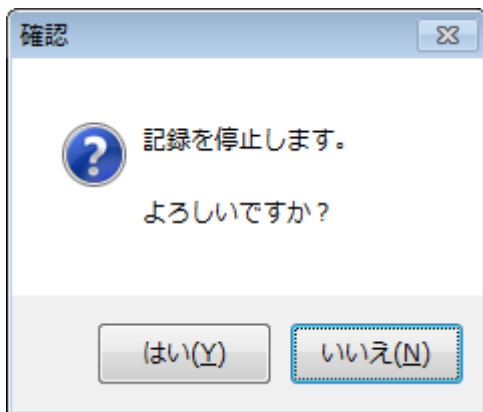


DXPDXA に演算オプション (/M1) があるときは、演算も開始します。

DXP は既に記録中の時、記録開始ボタンをクリックすると、エラーとなります。

## 10. 記録停止

メイン画面の記録停止ボタンをクリックすると確認画面が表示され、DXPDXA のメモリ記録を停止します。機能メニューの「記録停止」も同機能です。



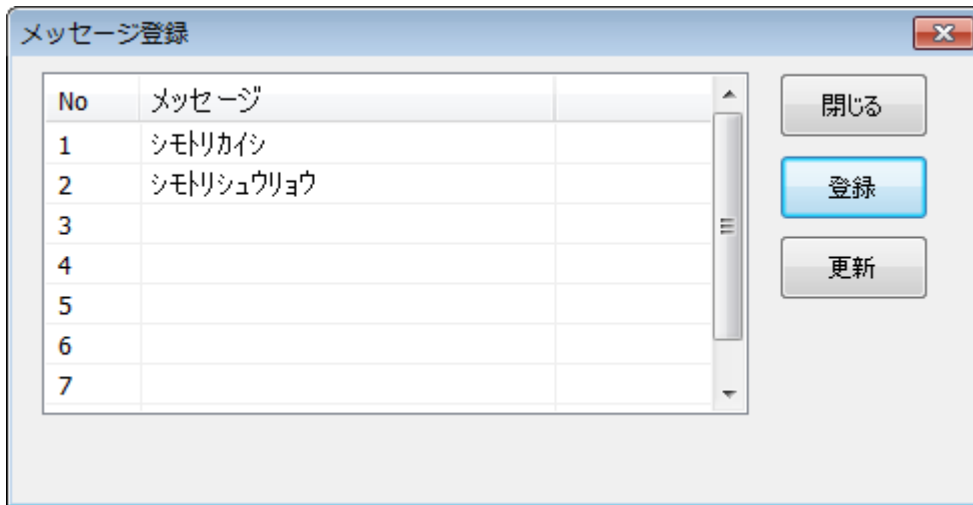
DXPDXA に演算オプション (/M1) があるときは、演算も停止します。

DXP は停止中の時、記録停止ボタンをクリックすると、エラーとなります。

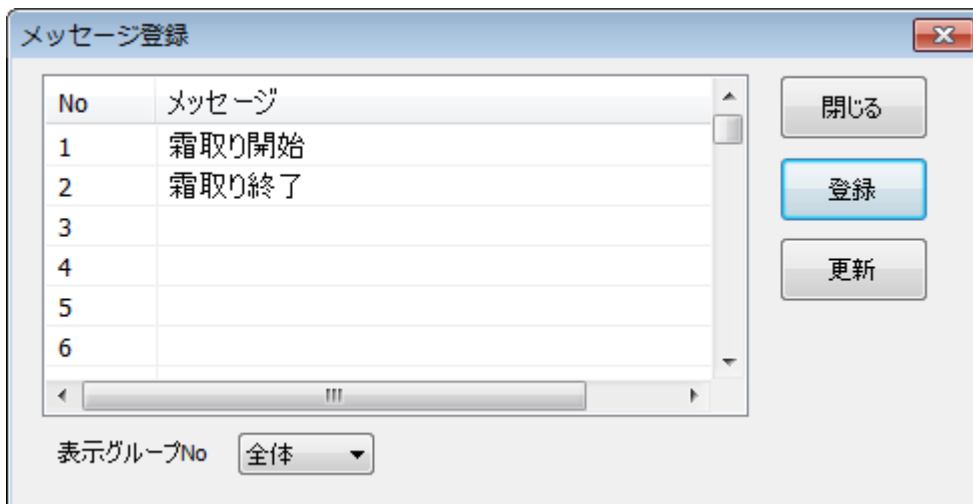
## 11. メッセージ

メイン画面のメッセージボタンをクリックすると、DXPDXA に設定されているメッセージを受信して一覧表示します。機能メニューの「メッセージ」も同機能です。

### ●DXP の場合



### ●DXA の場合



メッセージをクリックすると編集可能になります。

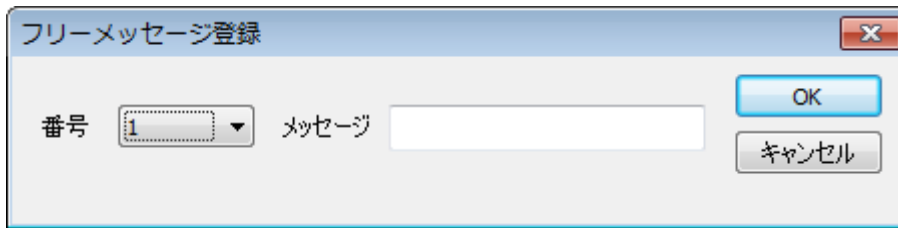
メッセージを選択して登録ボタンをクリックすると、画面（トレンド）にメッセージが書き込まれます。

更新ボタンをクリックすると、DXPDXA に設定されているメッセージを更新します。

表示グループNoは DXA の場合のみ表示されます。どのグループにメッセージを書き込むかを指定して下さい。

## 12. フリーメッセージ

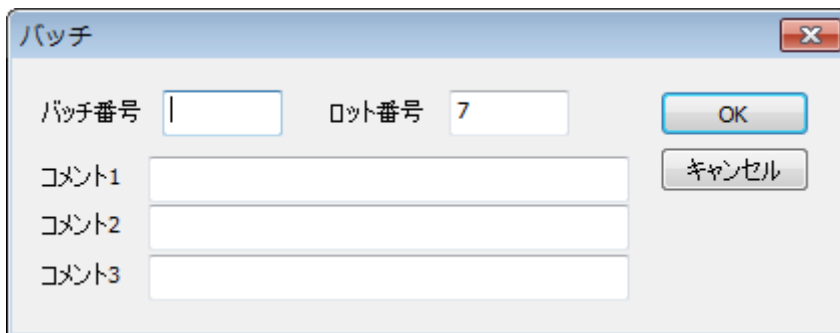
メイン画面のフリーメッセージボタンをクリックすると、フリーメッセージ登録画面が表示されます。機能メニューの「フリーメッセージ」も同機能です。



番号を選択し、メッセージを入力してOKボタンをクリックすると、画面（トレンド）にメッセージが書き込まれます。

## 13. バッチ

メイン画面のバッチボタンをクリックすると、バッチ情報入力画面が表示されます。機能メニューの「バッチ」も同機能です。



各項目を入力してOKボタンをクリックすると、DXPDXA にバッチ情報が設定されます。

メモリスタートしている場合は、コメントのみ設定できます。

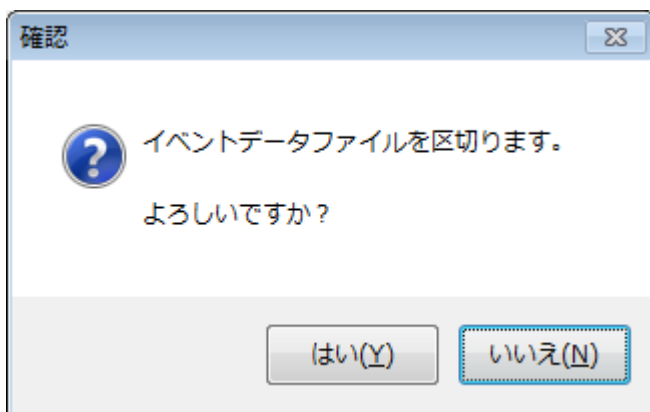
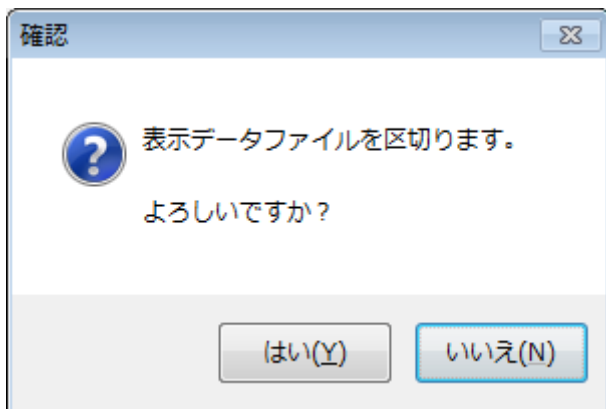
また本ソフトウェアでは、メモリスタートしている時に一旦登録したら、未入力のコメントであっても再度登録することはできません。

DXA でバッチ機能が OFF になっていると設定できません。



## 14. 表示セーブ・イベントセーブ

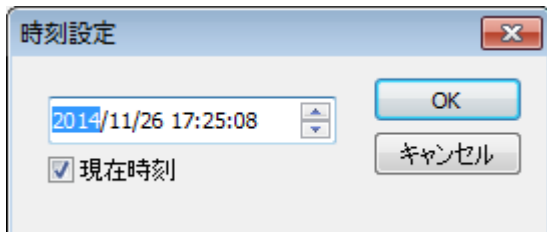
機能メニューの「表示セーブ」又は「イベントセーブ」を選択して下さい。  
記録データが表示データの時にイベントセーブは実行できません。その逆も同様です。



この機能を実行すると、ファイルが区切られて記憶メディアに保存されます。  
また、FTPクライアント設定がされていればFTP転送されます。

## 15. 時刻設定

機能メニューの「時刻設定」を選択して下さい。



時刻を設定してOKボタンをクリックすると、DXPDXA に時刻が設定されます。

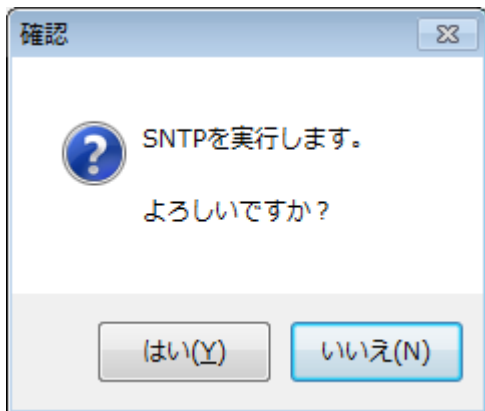
現在時刻をチェックすると、PC の時刻を設定します。

記録中の時は、徐々に時刻調整されます。記録停止中の時は、即時に時刻変更されます。

記録中に時刻設定する場合、DXPDXA に設定されている徐々に修正する限界値を超える時差があるときはエラーとなります。

## 16. SNTP 時刻調整

機能メニューの「SNTP 時刻調製」を選択して下さい。



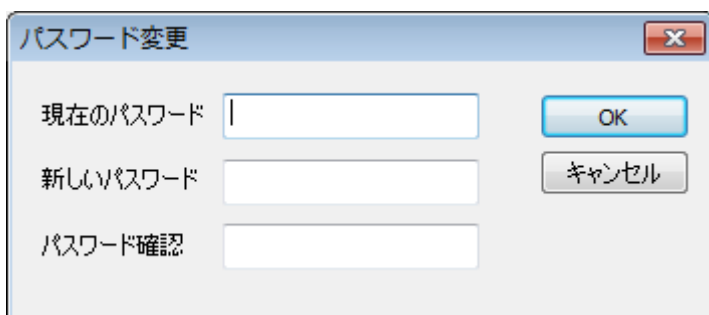
DXPDXA に設定されている SNTP クライアント設定の内容に従って時刻調整を行います。

記録中の時は、徐々に時刻調整されます。記録停止中の時は、即時に時刻変更されます。

記録中に時刻設定する場合、DXPDXA に設定されている徐々に修正する限界値を超える時差があるときはエラーとなります。

## 17. パスワード変更

機能メニューの「パスワード変更」を選択すると、パスワード変更画面が表示されます。変更できるのは、ログインユーザーのパスワードです。

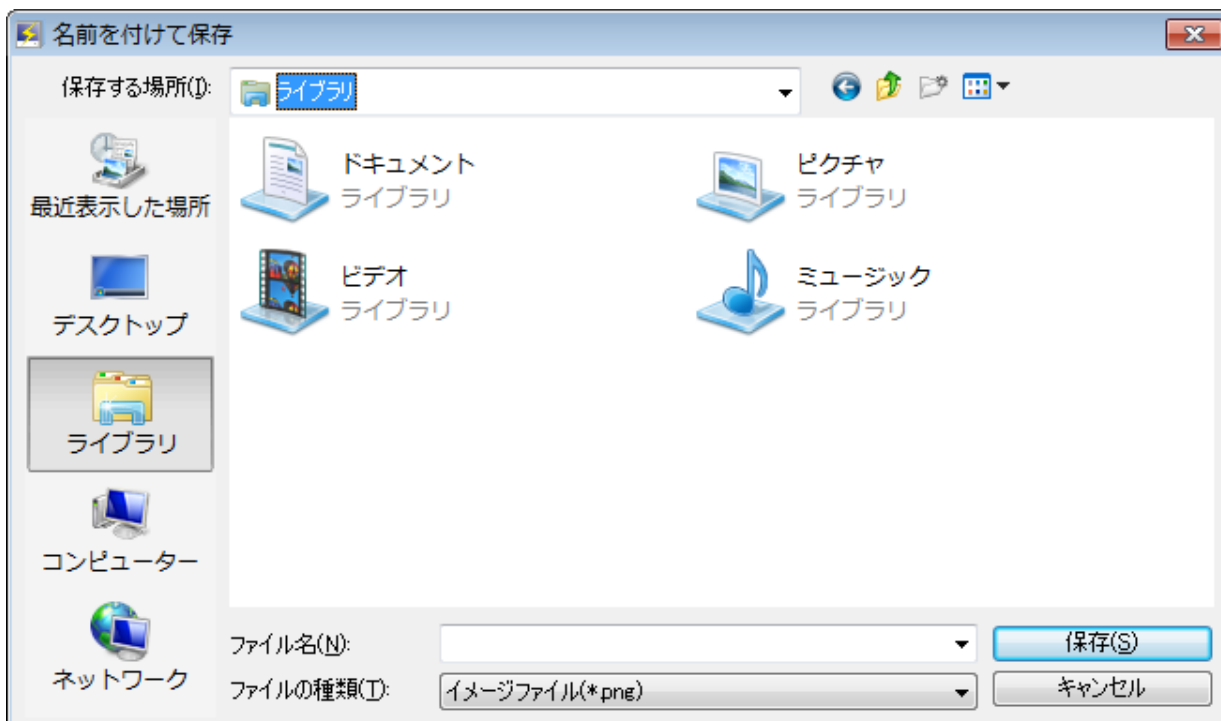


The screenshot shows a dialog box titled "パスワード変更" (Change Password). It contains three input fields: "現在のパスワード" (Current Password), "新しいパスワード" (New Password), and "パスワード確認" (Confirm Password). To the right of the first field is an "OK" button, and to the right of the second field is a "キャンセル" (Cancel) button.

各パスワードを入力して下さい。  
DXA の場合は同じパスワードに変更することはできません。

## 18. イメージ保存

機能メニューの「イメージ保存」を選択すると、ファイル保存画面が表示されます。表示している DXPDXA のスナップショットを保存できます。拡張子は PNG です。



The screenshot shows a "名前を付けて保存" (Save As) dialog box. The "保存する場所(D):" (Save in) dropdown is set to "ライブラリ" (Library). The main area displays a grid of library folders: "ドキュメント ライブラリ" (Documents Library), "ピクチャ ライブラリ" (Pictures Library), "ビデオ ライブラリ" (Videos Library), and "ミュージック ライブラリ" (Music Library). The left sidebar shows navigation options: "最近表示した場所" (Places shown recently), "デスクトップ" (Desktop), "ライブラリ" (Library), "コンピューター" (Computer), and "ネットワーク" (Network). At the bottom, the "ファイル名(N):" (File name) field is empty, and the "ファイルの種類(T):" (File type) dropdown is set to "イメージファイル(\*.png)". The "保存(S)" (Save) and "キャンセル" (Cancel) buttons are visible.

## 19. 最新に更新

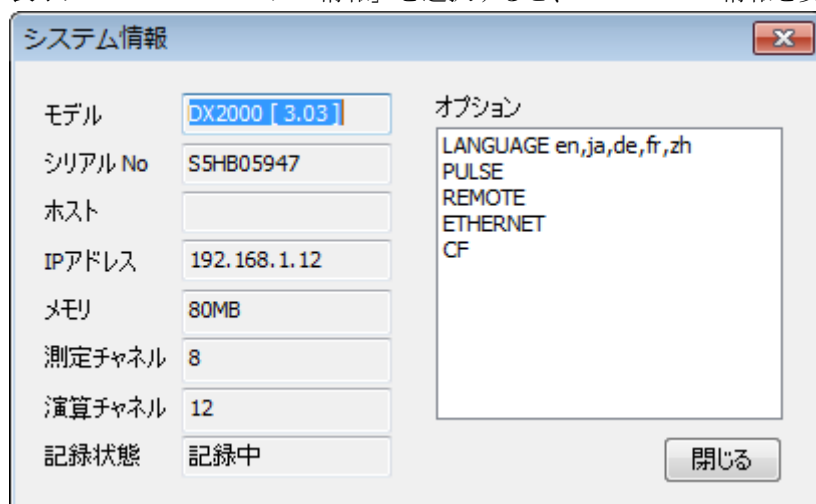
表示メニューの「最新に更新」を選択すると、スナップショットが更新されます。  
F5 キーでも同様です。

## 20. 自動更新

表示メニューの「自動更新」を選択すると、5 秒間隔でスナップショットが自動更新されます。  
もう一度選択すると、自動更新をストップします。

## 21. システム情報

表示メニューの「システム情報」を選択すると、DXPDXA の情報を受信して表示します。



The screenshot shows a dialog box titled "システム情報" (System Information) with a close button (X) in the top right corner. The dialog is divided into two main sections: "モデル" (Model) and "オプション" (Options).

**モデル (Model) section:**

- モデル: DX2000 [ 3.03 ]
- シリアル No: S5HB05947
- ホスト: [Empty]
- IPアドレス: 192.168.1.12
- メモリ: 80MB
- 測定チャンネル: 8
- 演算チャンネル: 12
- 記録状態: 記録中

**オプション (Options) section:**

- LANGUAGE en,ja,de,fr,zh
- PULSE
- REMOTE
- ETHERNET
- CF

At the bottom right of the dialog, there is a button labeled "閉じる" (Close).

## 22. WEB 表示

表示メニューの「WEB 表示」を選択すると、DXPDXA を WEB 表示します。  
本機能は、DXPDXA の WEB サーバー機能が ON の場合のみ行えます。

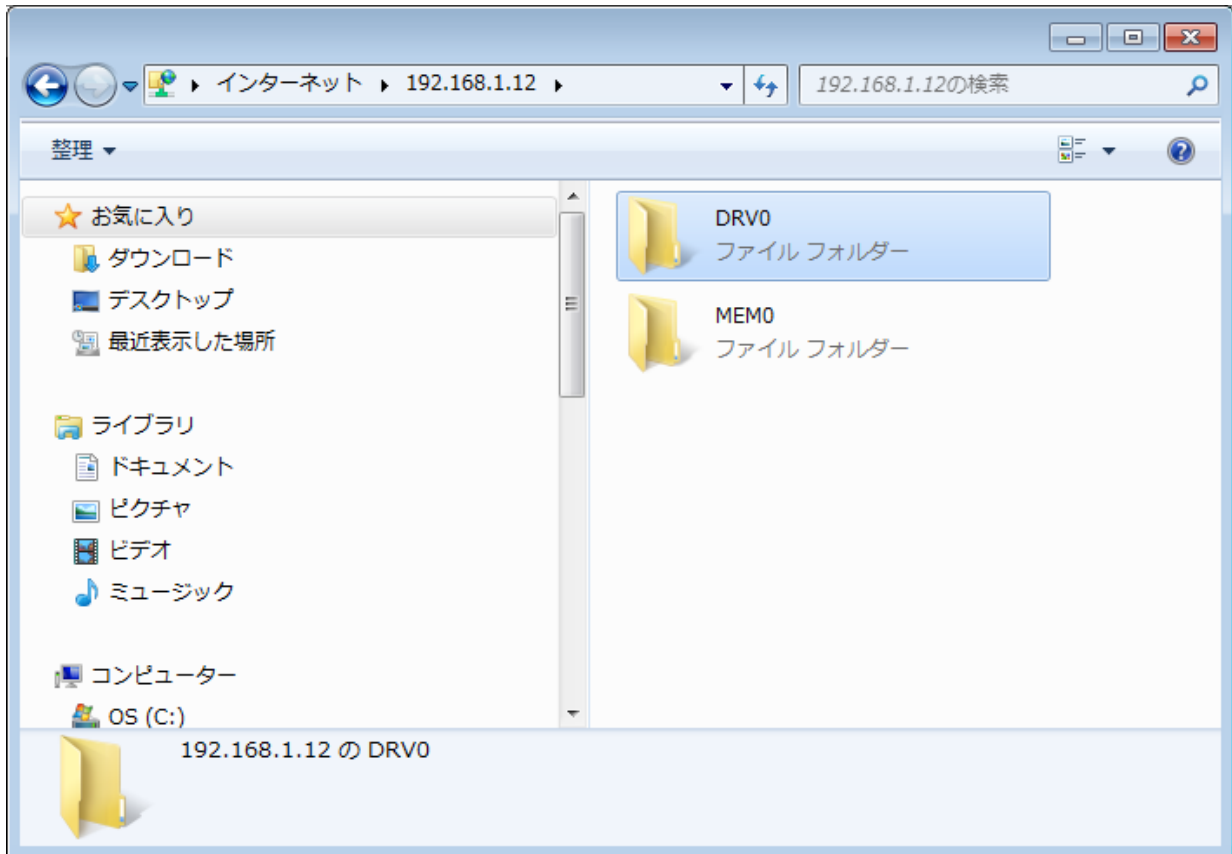


ブラウザでの操作方法は DXPDXA のマニュアルを参照下さい。

## 23. FTP 表示

表示メニューの「FTP 表示」を選択すると、DXPDXA の記憶メディアの内容をエクスプローラーで表示します。本機能は、DXPDXA の FTP サーバー機能が ON の場合のみ行えます。

エクスプローラーでユーザー名・パスワードの入力が必要です。



ファイルの内容については DXPDXA のマニュアルを参照下さい。

## 24. バージョン情報

バージョン情報を参照するには、メイン画面のタイトルバーのアイコンをクリックして表示されるメニューか、ヘルプメニューから「バージョン情報」を選択して下さい。

